

6. Appendix (結果詳細)

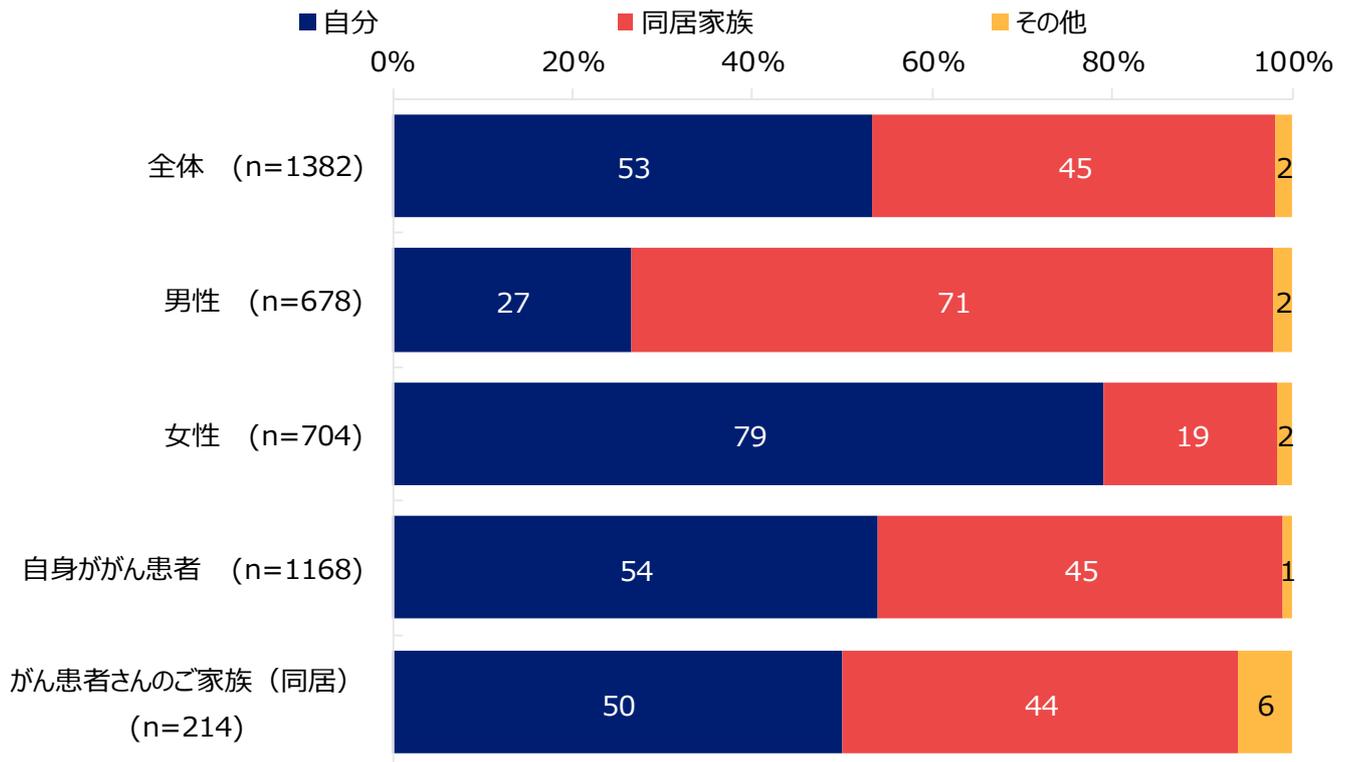


※1%未満については数字を非表示にしております。

5割以上の患者さんが自身で食事の準備

食事の準備と立場の関係性

Q16. 日ごろメインで食事の準備をしているのはどなたですか。



- ✔ 性別で見ると女性の79%が食事の準備をしており、男性では27%に留まっている。
- ✔ 回答者の立場で見ると「自身ががん患者」でも半数以上が自分自身で準備していることがわかる。

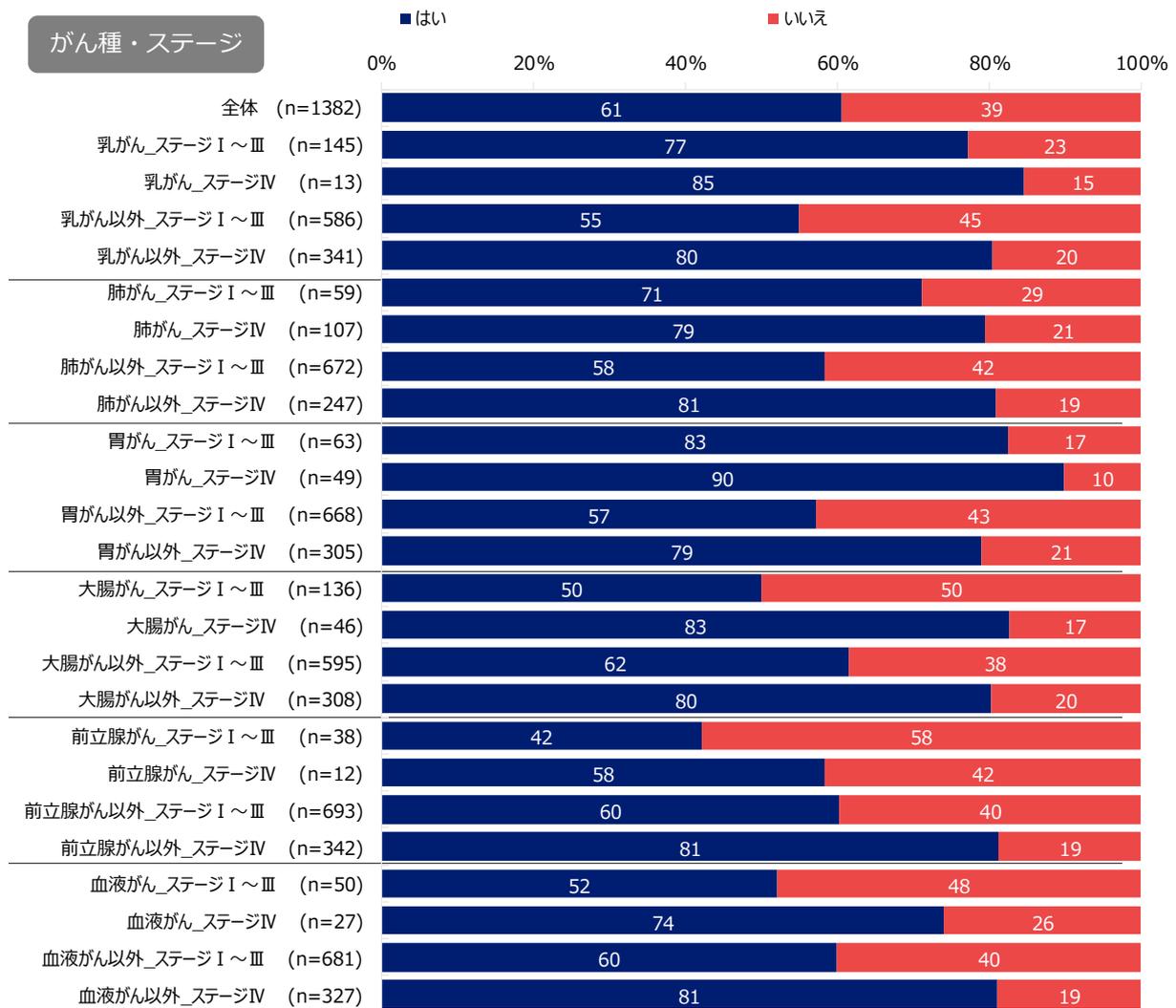
食事の悩み：胃がん8割以上、前立腺がん4割

がん種・ステージ別と食の悩み

Q17. がん治療中の食事について気になることや悩みを感じたことがありますか。

(例：食欲がわかない、味が変わって感じるなど)

※ご家族の方はがん患者さんのことについてお答えください。



- ✓ 胃がんではステージⅠ～Ⅲでも8割以上の方が食事に悩みを感じたことがあると回答している。
- ✓ 消化器がん以外である前立腺がんのステージⅠ～Ⅲでも4割の方が悩みを感じており、一定数存在していることがわかる。

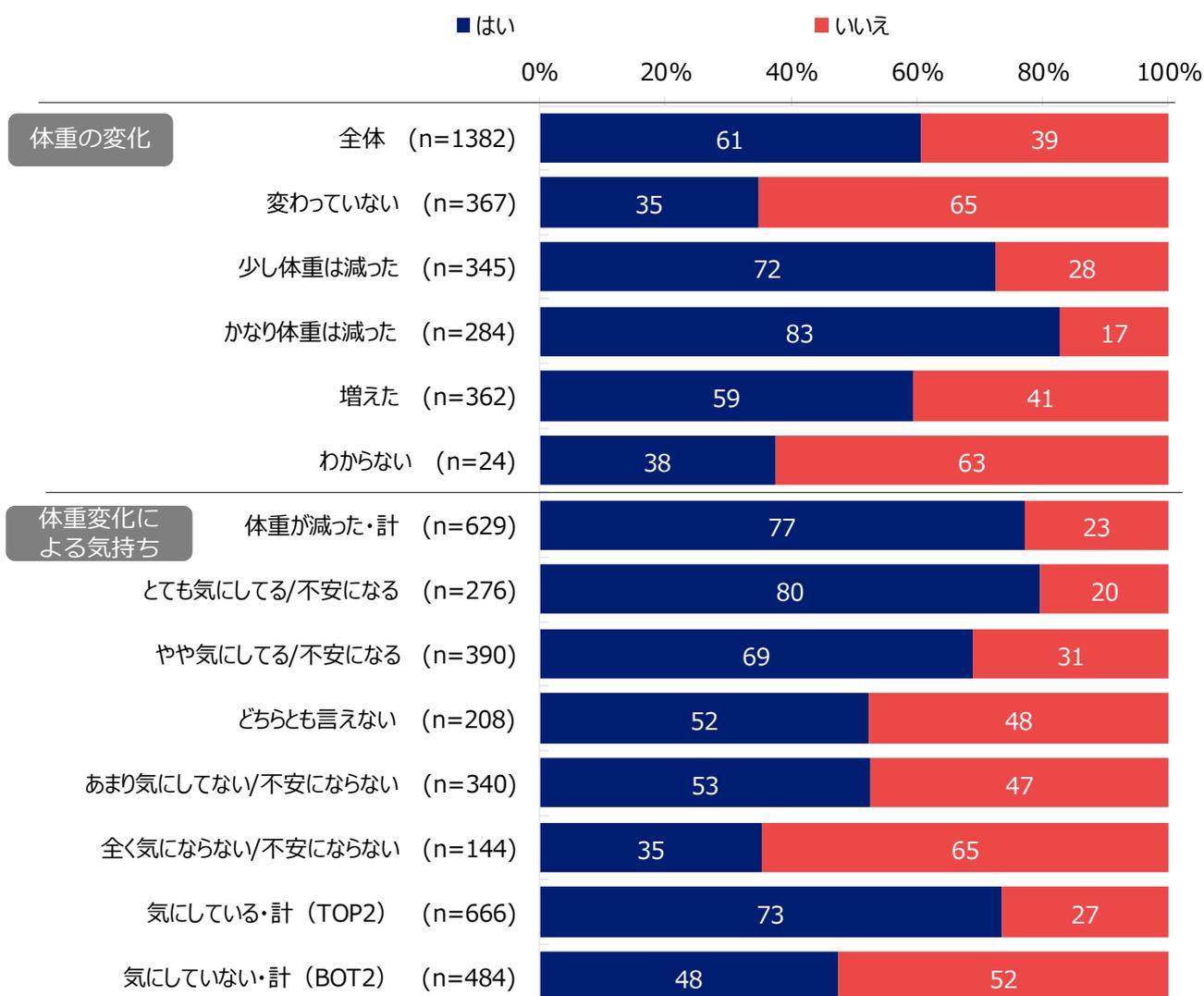
体重が減った方のほうが悩みを経験している

食に関する悩みとその関係性

Q17. がん治療中の食事について気になることや悩みを感じたことがありますか。

(例：食欲がわかない、味が変わって感じるなど)

※ご家族の方はがん患者さんのことについてお答えください。

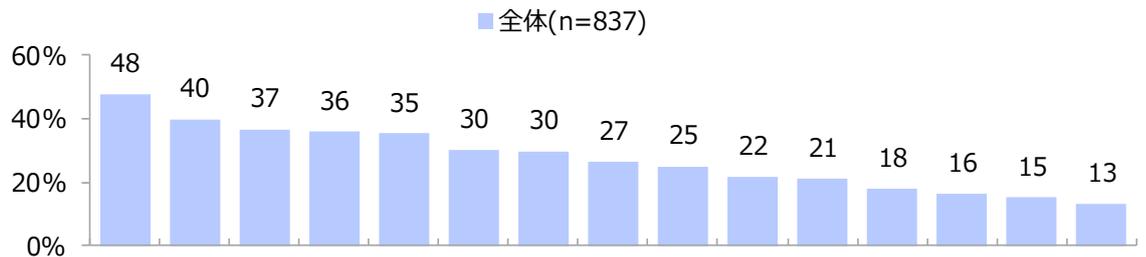


- ✔ 「少し体重は減った」「かなり体重が減った」では7~8割以上の方が食事について悩みを経験しており、体重が「増えた」の59%より高くなっている。
- ✔ 体重の変化に対して不安になっている方ほど、食に対する悩みを経験している。

体重が減った方の5割以上：食欲がなく悩んだ

体重変化と食事の悩み(身体面)

Q18. Q17で「はい」とお答えした方にお聞きします。
 当てはまる項目を全て選んでください。(いくつでも)
 ※ご家族の方はがん患者さんのことについてお答えください。



	(n)	食欲不振	味が変わって感じる	吐き気・嘔吐	体重減少	便秘	下痢	味を感じにくくなった	お腹が張る	口内炎	なる食べ物の匂いが気になる	口が乾く	調胃や腸の手術後の不	味覚が過敏になった	飲み込みが困難	その他	
全体	(837)	48	40	37	36	35	30	30	27	25	22	21	18	16	15	13	
Q22	変わっていない	37	38	34	8	36	27	24	22	22	16	16	13	12	9	16	
	少し体重は減った	48	37	35	34	36	30	25	22	25	22	17	18	14	13	12	
	かなり体重は減った	61	41	41	74	33	38	30	37	26	23	23	28	21	24	11	
	増えた	40	43	36	14	36	24	37	24	27	24	26	10	16	11	15	
	わからない	56	56	44	22	22	33	44	11	11	11	33	11	0	33	22	
がん診断	本人	485	54	39	38	53	35	34	28	29	26	22	20	23	18	18	12
【体重変化_区分_10kg】	+10kg以上	31	45	45	48	10	45	39	52	35	32	55	16	13	19	26	16
	+1~9kg	155	39	46	39	13	39	25	38	22	26	23	31	10	15	9	14
	±0kg	60	22	30	25	10	35	22	22	15	17	7	13	12	5	7	28
	-1~9kg	276	46	38	37	40	41	31	27	24	29	25	19	20	16	13	12
	-10kg以上	109	56	41	39	65	28	42	33	36	18	25	27	28	23	28	10
【体重変化_区分_10kg】	+10kg以上	5	20	0	40	0	60	0	0	0	20	20	0	0	20	80	
	+1~9kg	22	41	41	23	5	14	27	27	27	36	18	18	0	27	9	5
	±0kg	5	40	40	60	0	20	60	20	0	20	20	0	0	40	0	40
	-1~9kg	62	79	44	34	52	27	26	29	35	31	21	23	18	16	18	6
	-10kg以上	46	70	39	48	89	39	48	30	35	28	11	11	33	15	30	17

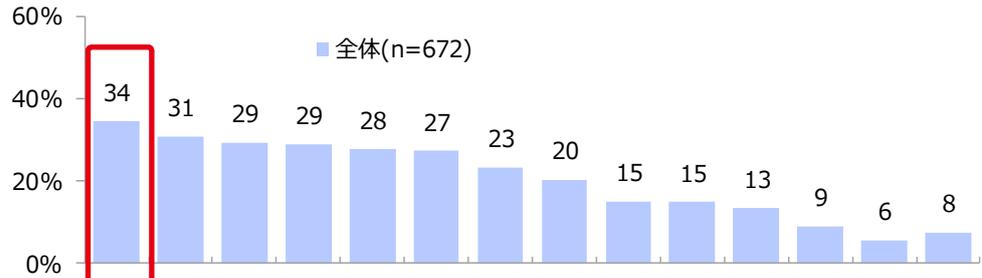
 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上低いセル

- ✔ 体重が減った患者さんの5割以上が「食欲がない」で悩んだ経験があり、「かなり体重が減った」になると6割以上が悩んでいる。
- ✔ 体重が減った患者さんの家族では「食欲がない」と回答した割合が7割以上になっている。

体重が減った方の4割は「食事を楽しめない」

体重変化と食事の悩み(本人心理面)

Q19. Q17で「はい」とお答えした方にお聞きします。
当てはまる項目を全て選んでください。(いくつでも)



	(n)	食事を楽しめない	数々の生活が適切か知りたい(量・回数)	これまでの食生活のせいでがんになったのではないかと考えてしまう	すぐにお腹いっぱいを感じる	おいしいと思わない	何を食べてもいいかわからない	調理することを負担に感じるようになった	偏食になつていて	負担が増えた	治療の影響で調理に工夫が必要になり	食に関心がなくなった	が辛い	家族や周囲に食べたくないものまで勧められている	家族、友人や親せきなど周囲からサポートを勧められている	その他
全体	(672)	34	31	29	29	28	27	23	20	15	15	13	9	6	8	
Q22	変わっていない	23	28	37	17	19	28	17	16	10	11	4	4	7	9	
	少し体重は減った	37	31	26	31	26	26	27	17	17	15	15	7	4	5	
	かなり体重は減った	49	36	26	51	31	28	19	25	23	19	19	14	4	9	
	増えた	25	29	32	15	31	27	28	22	10	14	13	10	8	9	
わからない	(8)	50	13	13	13	38	25	13	13	0	0	0	0	0	13	
がん診断	(363)	42	33	26	40	28	27	23	21	20	17	17	10	4	7	
【体重変化_区分_10kg】本人	+10kg以上	32	23	26	13	45	26	26	32	6	13	13	19	23	3	
	+1~9kg	25	29	33	14	30	28	25	21	11	13	14	8	5	11	
	±0kg	18	37	45	8	13	32	13	13	12	2	3	2	8	10	
	-1~9kg	37	30	26	33	27	24	24	20	16	17	14	8	3	7	
-10kg以上	(109)	54	35	25	54	32	35	20	25	25	20	18	16	6	6	

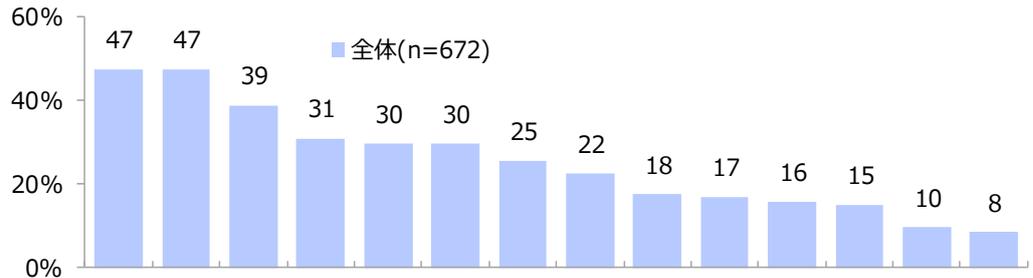
 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上低いセル

- ✔ 体重が減った方の42%は「食事が楽しめない」と回答している。
- ✔ 「-10kg以上」の患者さんにいたっては、半数以上が「食事を楽しめない」と回答しており、また同割合で「すぐにお腹いっぱいを感じる」と回答している。
- ✔ 「±0kg」の患者さんの4割以上が「これまでの食生活のせいでがんになったのではないかと考えてしまう」と回答しており、体重変化のある方と異なる悩みを持っている。

約半数の家族、「食事を楽しんでいないように感じる」

体重変化と食事の悩み(家族心理面)

Q20. Q17で「はい」とお答えした方にお聞きします。
当てはまる項目を全て選んでください。(いくつでも)



	(n)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
全体	(165)	47	47	39	31	30	30	25	22	18	17	16	15	10	8		
Q22	変わっていない	(15)	40	53	20	40	27	13	20	27	13	13	0	13	13	7	
	少し体重は減った	(49)	41	47	37	20	33	27	18	24	14	14	10	8	8	4	
	かなり体重は減った	(73)	55	47	45	38	27	38	32	23	16	21	26	23	12	10	
	増えた	(27)	41	48	37	26	33	22	26	15	30	11	7	7	4	15	
	わからない	(1)	100	0	0	0	0	0	0	0	0	100	0	0	0	0	
がん診断	体重が減った	(122)	49	47	42	31	30	34	26	24	16	18	20	17	11	7	
【体重変化_区分_10kg] 家族	+10kg以上	(5)	40	60	20	20	40	20	20	20	60	20	0	0	0	20	
	+1~9kg	(22)	36	50	32	32	36	23	23	18	27	9	9	14	0	14	
	±0kg	(5)	20	60	20	20	20	0	20	40	0	0	0	20	20	20	
	-1~9kg	(62)	58	52	40	31	31	32	23	26	13	23	18	18	10	3	
	-10kg以上	(46)	50	46	46	37	33	43	39	20	17	13	24	22	11	11	

 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上低いセル

- ✔ 体重が減った患者さんの家族は約半数が「(患者さんが) 食事を楽しんでいないように感じる」と回答している。
- ✔ -10kg以上体重が減少している患者さんの家族の4割が「作っても食べてもらえないことがあって悲しくなる」「治療の影響で調理に工夫が必要になり負担が増えた」と回答している。

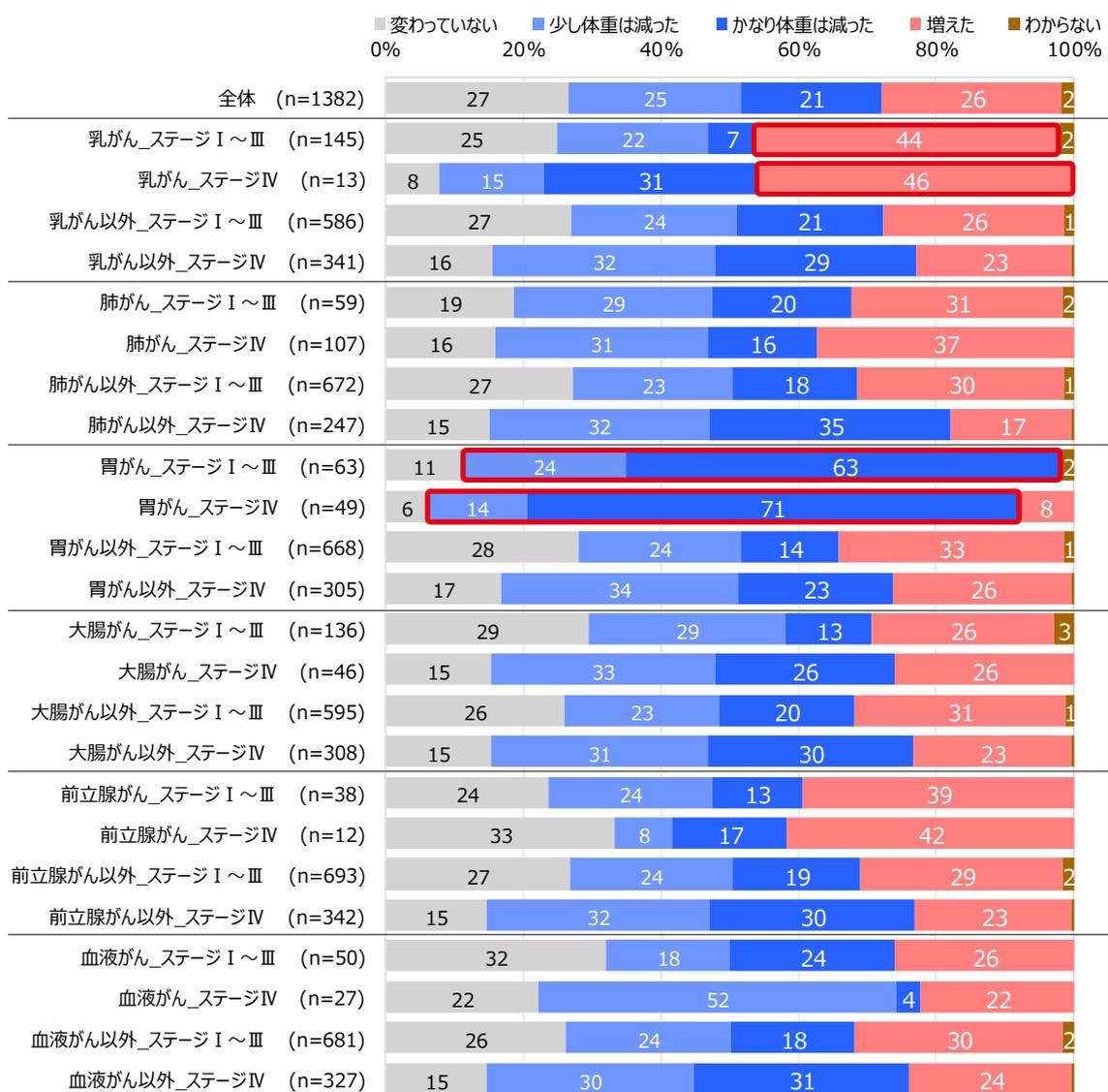
胃がん患者さんでは8割以上が体重減少

がん種×ステージと体重変化

Q22. 現在の状況についてお聞きします。

がん診断前と比べて、体重の変化について選んでください。

※ご家族の方はがん患者さんのことについてお答えください。



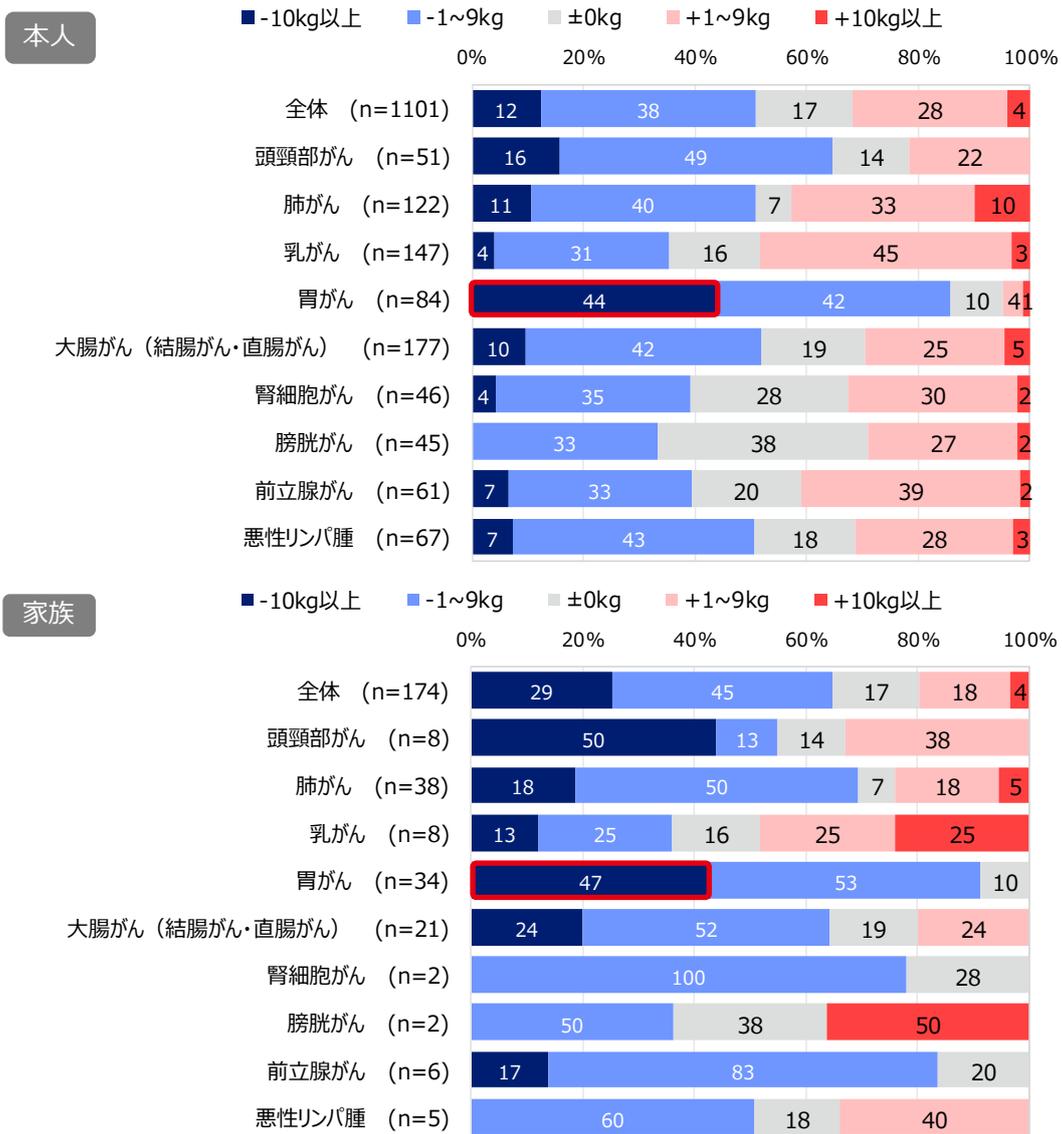
- ✔ 胃がん患者さんでは8割以上が「少し体重は減った」「かなり体重は減った」と回答している。
- ✔ 乳がん患者さんでは5割弱が「増えた」と回答している。

胃がん患者さんの4割が10kg以上体重減少

がん種と体重変化

Q23. 差し支えなければ、がん診断前と現在の体重をそれぞれ回答してください。

※この質問は体重の減少率(%)と質問内容との相関性を調べ、皆さんが抱えるお悩みをより明確化する目的で聞いております。
回答したくない場合には空欄のまま次の質問にお進みください。



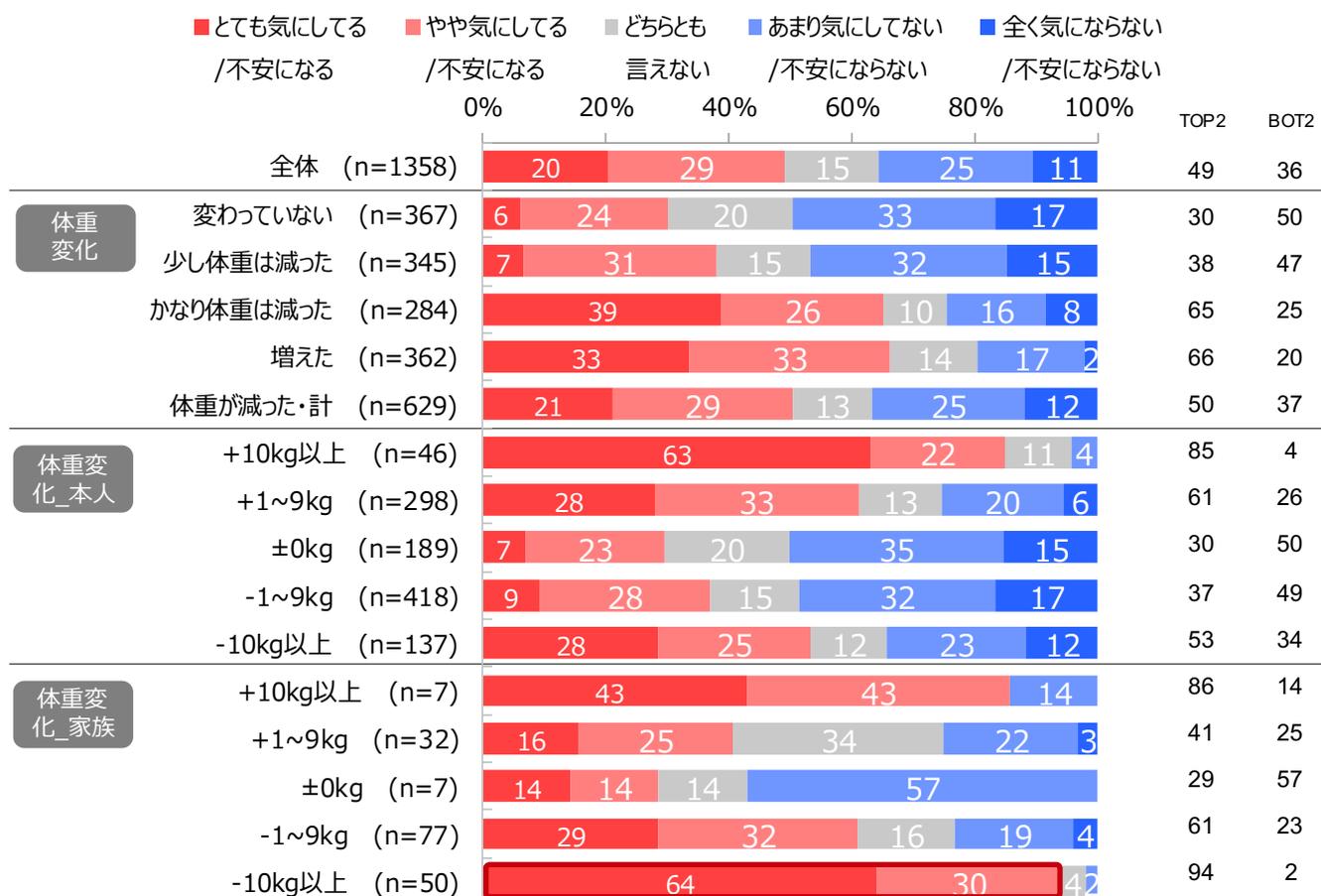
- ✔ 胃がん患者さんの4割が10kg以上体重が減少したと回答している。
- ✔ ご家族の回答でも胃がん患者さんの約半数が10kg以上の減少となっている。

体重増減は患者さん本人だけでなく家族も不安

体重の増減に対する不安について

Q25. 体重の変化についてどのように感じていますか。当てはまるものをお選びください。

※ご家族の方はあなた自身がどのように感じているかについてお答えください。

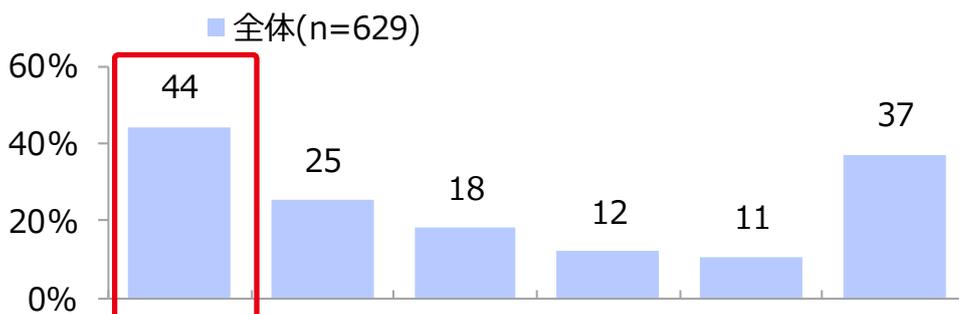


- ✓ 体重の変化が大きいほうが不安になる割合が高くなっている。
- ✓ 10kg以上の体重減少をしている患者さんの家族は94%が不安を感じている。

体重減少で疲れやすく、活動が制限される

体重減少による悩み

Q26. 体重減少について当てはまる項目について全て選んでください。(いくつでも)



		(n)	疲れやすく、日中の活動が制限される	がんを負っているのではないかと不安になる	周囲にやせたとと思われるのではないかと辛い気持ちになる	鏡を見るのが辛い	またやせたのではないかと、体重計に乗りたくない	その他
全体		(629)	44	25	18	12	11	37
体重変化	少し体重は減った	(345)	37	19	13	6	6	44
	かなり体重は減った	(284)	53	32	25	19	17	29
	体重が減った・計	(629)	44	25	18	12	11	37
【体重変化_区分_10kg】本人	+10kg以上	(0)	0	0	0	0	0	0
	+1~9kg	(4)	50	25	0	0	0	25
	±0kg	(1)	100	0	0	0	0	0
	-1~9kg	(332)	37	17	16	8	8	47
	-10kg以上	(137)	46	23	18	19	15	39
【体重変化_区分_10kg】家族	+10kg以上	(0)	0	0	0	0	0	0
	+1~9kg	(1)	100	0	0	0	0	0
	±0kg	(0)	0	0	0	0	0	0
	-1~9kg	(69)	61	36	20	13	16	20
	-10kg以上	(49)	71	65	41	24	12	4

は全体より10ポイント、
は全体より5ポイント以上高いセル
は全体より10ポイント、
は全体より5ポイント以上低いセル

- ✔ 体重変化の3つの軸すべてにおいて「疲れやすく、日中の活動が制限される」が最も割合として高くなっている(その他を除く)。
- ✔ -10kg以上の患者さんで、約2割が「鏡をみるのが辛い」と回答している。

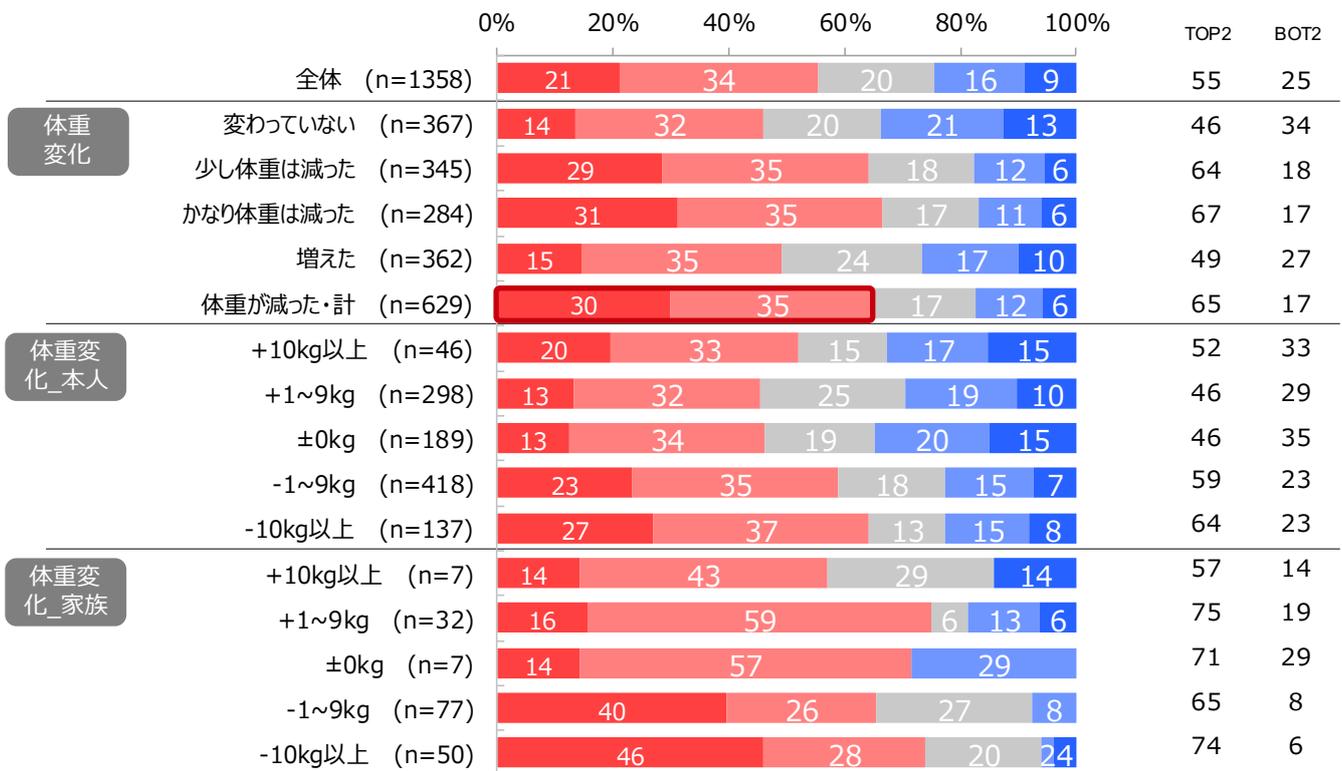
体重減少した患者さん、食事に関する情報を収集

体重減少と食に関する行動①

Q27. 食に関する行動の当てはまり度合いをお答えください。

1. 「がんになって以降、以前より食事についての情報収集を行うようになった」

■ とても当てはまる ■ やや当てはまる ■ どちらとも言えない ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない



✔ 体重が減った患者さんの65%は「がんになって以降、以前より食事についての情報収集を行うようになった」と回答している。

✔ 患者さん本人より家族のほうが情報収集していることがわかる。

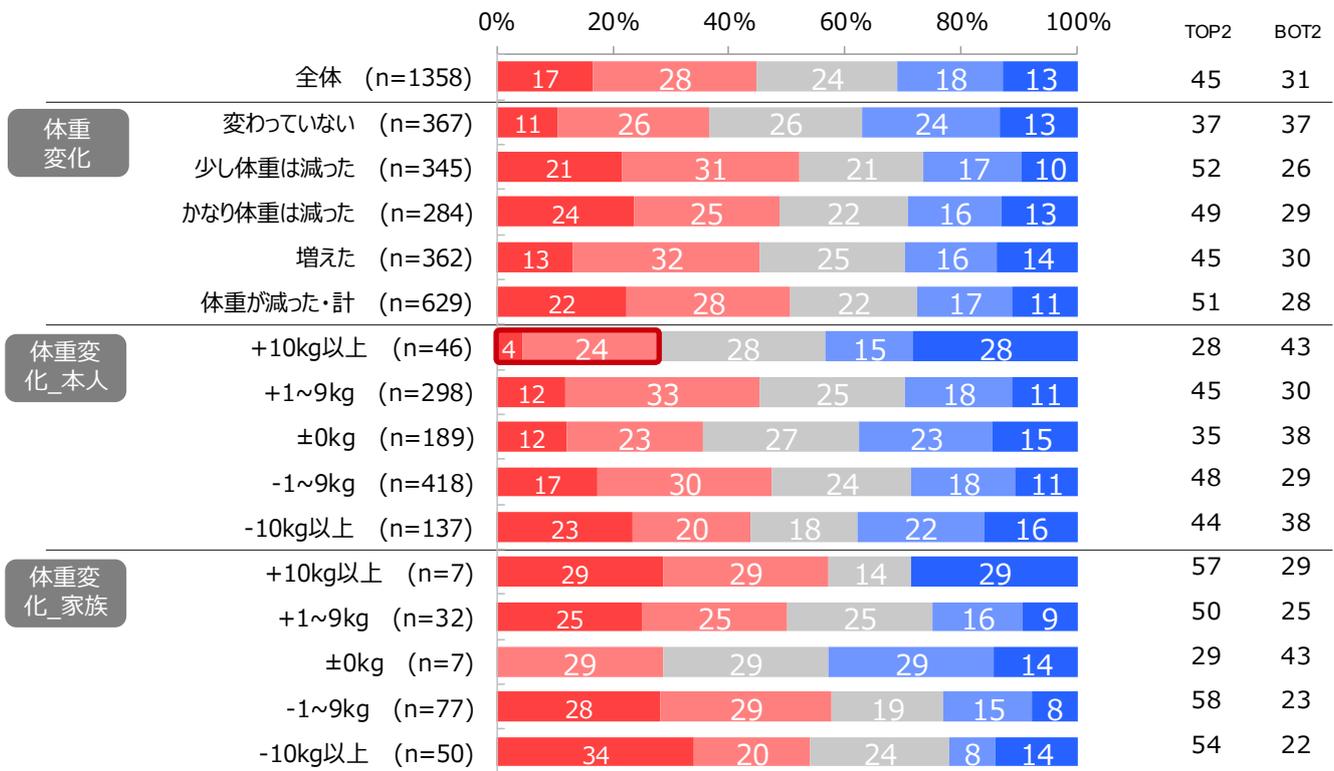
4割以上が食品添加物や加工品を避けている

体重減少と食に関する行動②

Q27. 食に関する行動の当てはまり度合いをお答えください。

2.「食品添加物や加工品を避けている」

■とても当てはまる ■やや当てはまる ■どちらとも言えない ■あまり当てはまらない ■全く当てはまらない



- ✔ 体重が増えた患者さんと減った患者さんでは、大きな違いはないものの、10kg以上増加した患者さん本人に関しては食品添加物や加工品を避ける割合は他より少ない傾向にある。

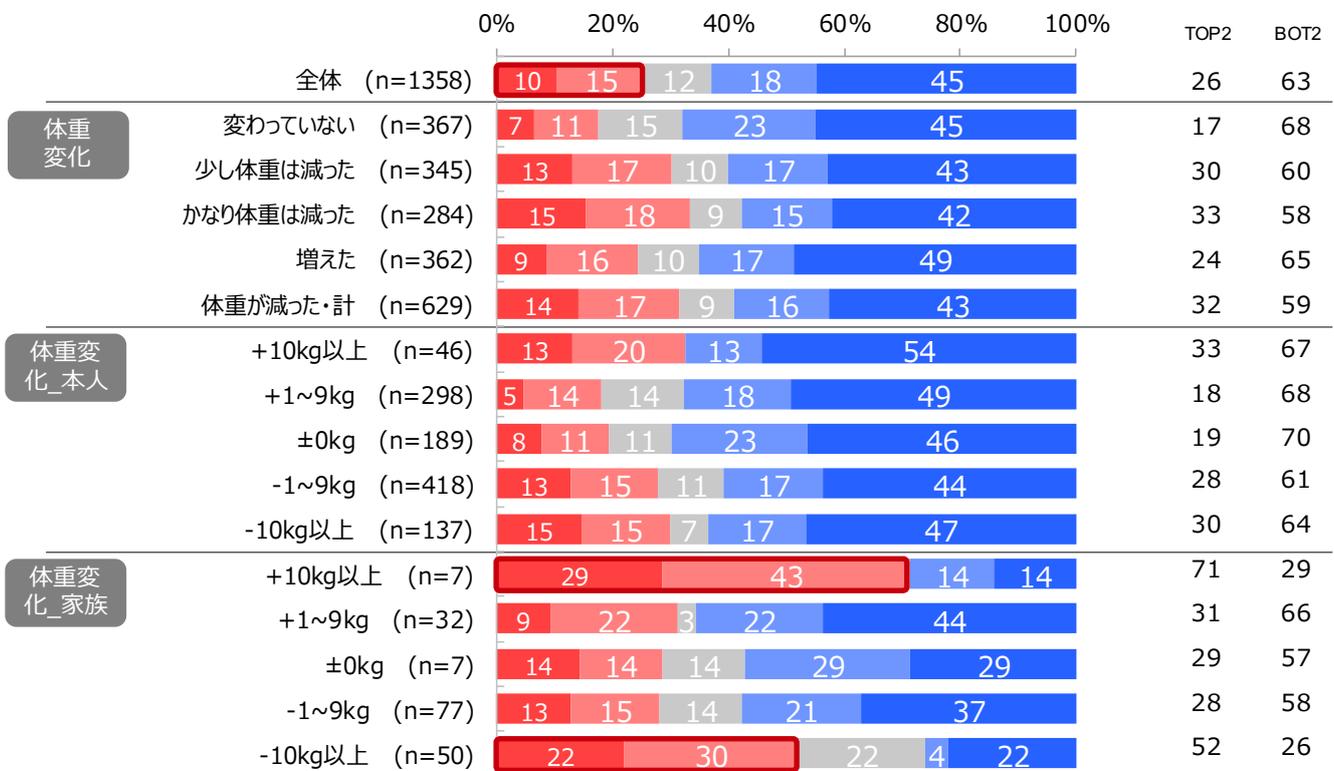
がんに効くと言われる食品の経験割合は2割強

体重減少と食に関する行動③

Q27. 食に関する行動の当てはまり度合いをお答えください。

3.「ネットや本で、がんが治ると言われる食品、サプリメントなどを試したことがある」

■とても当てはまる ■やや当てはまる ■どちらとも言えない ■あまり当てはまらない ■全く当てはまらない



- ✓ 全体で「ネットや本で、がんが治ると言われる食品、サプリメントなどを試したことがある」は25%となっている。
- ✓ 10kg以上減っている患者さん家族では52%、10kg以上増えている患者さん家族では71%となっている。

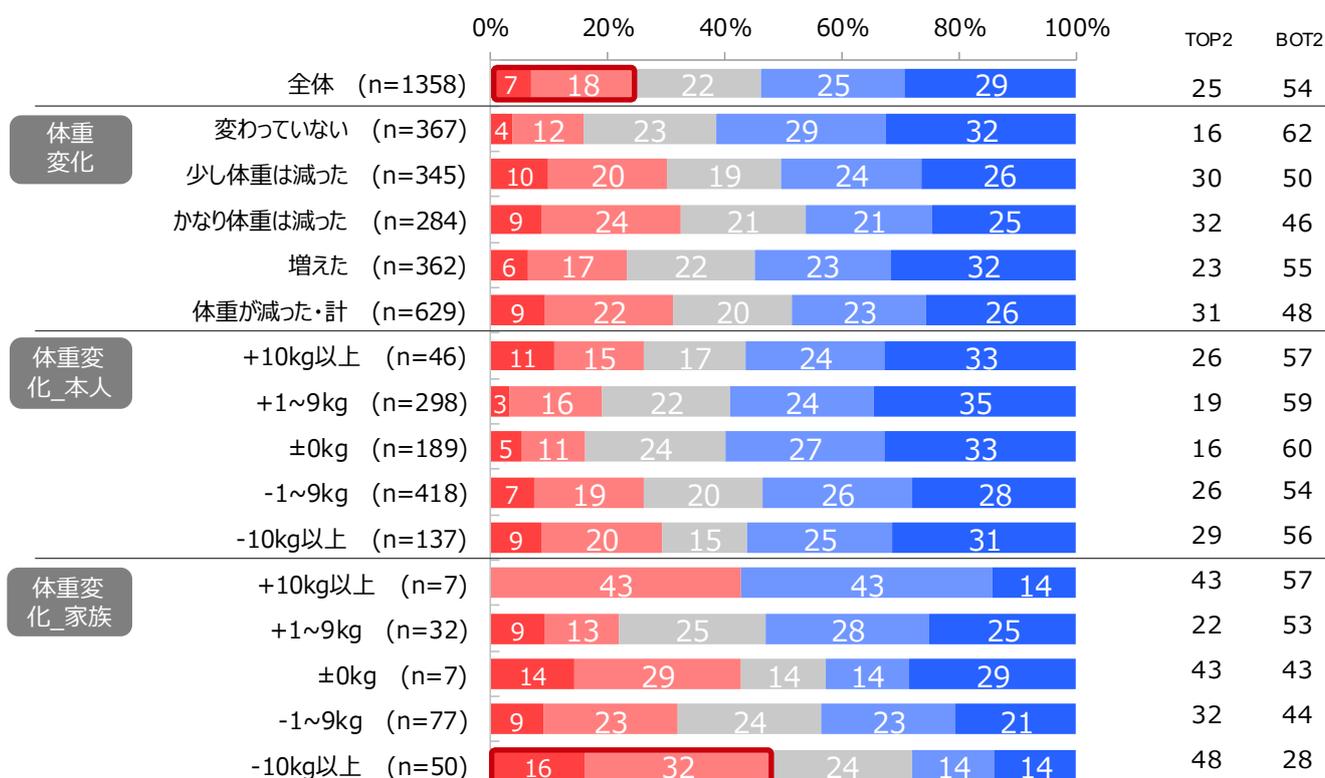
食材へのこだわりによる食費の家計圧迫は2割程

体重減少と食に関する行動④

Q27. 食に関する行動の当てはまり度合いをお答えください。

4. 「食材や調味料、油等にこだわることで、食費が家計を圧迫するようになった」

■ とても当てはまる ■ やや当てはまる ■ どちらとも言えない ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない

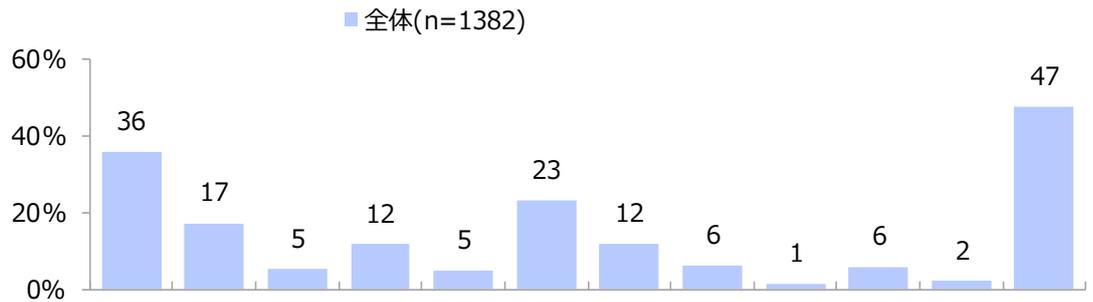


- ✔ 「食材や調味料、油等にこだわることで、食費が家計を圧迫するようになった」は全体で25%となっている。
- ✔ 10kg以上減っている患者さん家族では48%となっている。

食事と体重減少の悩み相談先1位医師、2位家族

食事と体重減少と悩みの相談先

Q29. 食事と体重減少に関するお悩みについて、
相談したことがある方を全て選んでください。(いくつでも)



		医師	看護師	薬剤師	栄養士	ターゲ ット 相談 担当者	家族	友人	患者会	会社の同僚や上司	ログ や 掲示 板 など	SNS 上 の 掲示 板 や コメント欄にて	その他	相談はしていない
(n)														
全体	(1382)	36	17	5	12	5	23	12	6	1	6	2	47	
Q22	変わっていない	22	10	3	7	2	11	6	4	1	4	2	65	
	少し体重は減った	38	15	5	14	5	26	11	6	1	5	2	40	
	かなり体重は減った	57	32	10	21	10	42	20	10	4	12	2	24	
	増えた	31	15	4	7	4	19	13	6	2	4	2	52	
体重が減った・計		47	23	7	17	7	33	15	8	2	8	2	33	
【体重変化_区分_10kg】本人	+10kg以上	39	15	11	17	4	28	20	4	2	11	4	37	
	+1~9kg	28	14	3	5	4	16	10	6	1	3	2	60	
	±0kg	20	10	2	10	2	11	5	5	0	6	3	65	
	-1~9kg	35	17	5	14	4	25	12	5	2	5	2	44	
【体重変化_区分_10kg】家族	-10kg以上	57	29	12	19	7	50	20	9	4	12	1	24	
	+10kg以上	29	0	0	0	0	29	29	0	0	14	0	57	
	+1~9kg	41	16	3	13	6	16	3	6	0	6	0	44	
	±0kg	0	14	0	0	0	14	0	0	0	0	14	71	
家族	-1~9kg	56	28	10	22	12	18	19	9	4	6	1	26	
	-10kg以上	70	42	8	20	16	36	16	10	0	14	8	12	

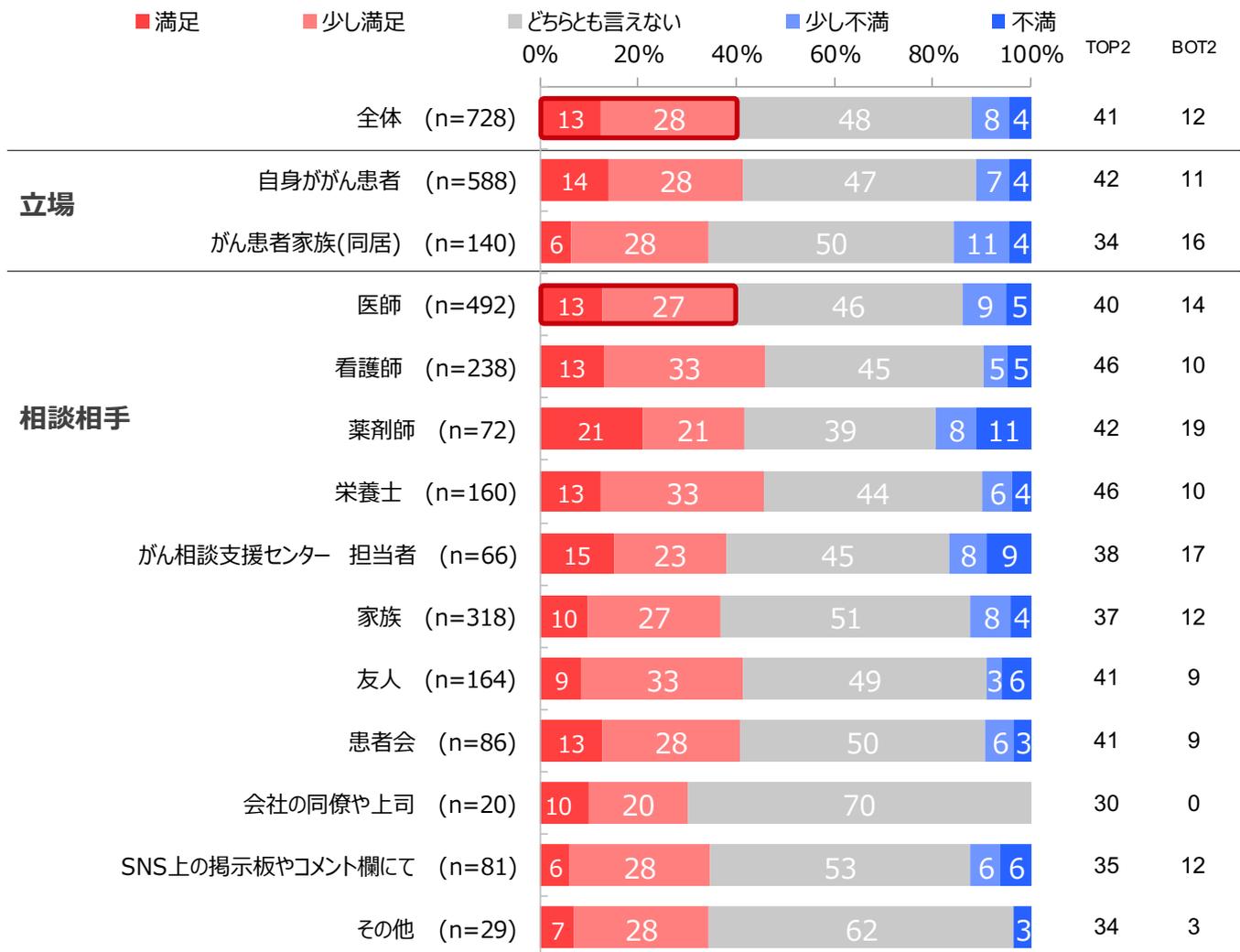
 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上高いセル
 は全体より10ポイント、 は全体より5ポイント以上低いセル

- ✓ 食事と体重減少の悩みの相談先としては医師が36%と最も高く、続いて家族の23%であった。
- ✓ 10kg以上減っている患者さん家族では医師に相談した割合が7割に達しており、看護師への相談割合も4割になっている。

相談して満足できているのは4割程度

相談先と結果の満足度

Q30. 食事と体重減少に関するお悩みについて、
相談した結果、どのように感じましたか。

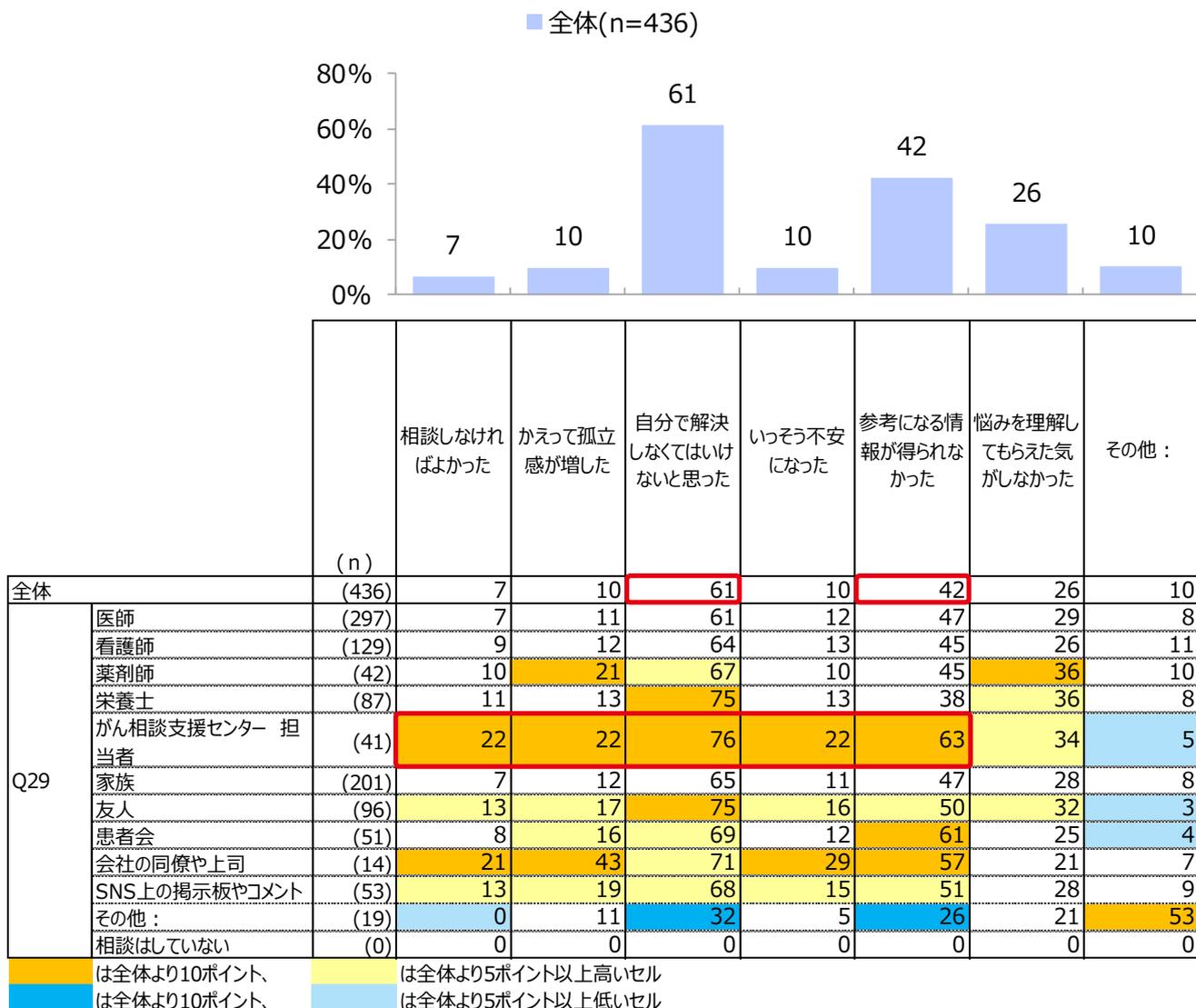


- ✓ 相談した結果、満足している割合が41%となっている。
- ✓ 相談先として最も多い医師でも、満足している割合は40%となっている。

相談の結果、自分で解決しなくてはならない

相談先と不満の際の感情

Q33. 相談をし、少し不満、不満を感じた際、どのように思いましたか。
当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)



- ✓ 相談で不満を感じた際の感情としては「自分で解決しなくてはならないと思った」が最も多く61%であった。
- ✓ 続いては「参考になる情報が得られなかった」が42%であった。
- ✓ がん相談支援センター担当者における割合はどれも高くなっている。